

平成 28 年 度

「経営発達支援計画」事業実施報告書

(事業の実績・評価・見直し結果)

西 方 商 工 会

概要

本報告書は、経営発達支援計画に基づき、西方商工会が平成28年度に実施した事業の実績、評価及び見直し結果等についてまとめたものである。

国に提出するほか、当商工会のホームページに掲載し、地域の小規模事業者が閲覧できるようにしている。

なお、評価及び見直しにあたっては、「西方商工会経営発達支援計画検討委員会」を組織して、外部有識者等を活用し、公平かつ幅広い意見を取り入れて審議を行った。

西方商工会経営発達支援計画検討委員会

■ 目的

経営発達支援計画の年度目標(P)に対する実績(D)の報告を受け、目標達成事業の効果、未達成事業の理由や原因について評価・検証(C)し、推進方法等の見直し(A)を審議する。審議結果を商工会の理事会等へ報告し、次年度以降の事業に反映させていく。PDCAサイクルを有効に回すことで、計画の実効性を高める。

■ 組織（委員名簿）

No.	役名	氏名	所属・役職等
1	委員長	亀田康志	亀田ビジネスサポート代表 中小企業診断士
2	副委員長	渋江和弘	栃木市産業振興部西方産業振興課長
3		菊池泰夫	日本政策金融公庫佐野支店融資課長
4		長谷川 敬	栃木県商工会連合会経営の見える課 主査

商工会役員

1		山岸弘幸	西方商工会会長代行 エー・ピー・エフ（株）代表
2		荻原幸一	西方商工会副会長 おぎわら建築代表

事務局

1		竹澤孝俊	西方商工会経営指導員
2		野澤慎一	西方商工会経営支援員

■ 会議開催状況

日時：平成29年2月14日（火）13:30～16:30

場所：西方商工会 会議室

1. 地域の経済動向調査に関すること【指針③】

経営発達支援事業の目標達成に向け、「地域の消費者及び小規模事業者の経済動向実態を把握すること」を目的に、各種調査を活用した地域の経済動向に関する情報の収集・整理・分析及び提供を行う。

「地域と事業者の現状と地域の課題の“見える化”」効果を図る。

(1) 実施した事業内容

① 西方地域経済動向調査

地域の消費者及び小規模事業者の経済動向実態を把握することを目的、28年8月、カメダビジネスサポートに栃木市西方町の経済動向調査を依頼、10月に報告書作成。調査結果を商工会ホームページに掲載すると共に専門家派遣を行った6企業の企業支援に活用。

② 建設業者向け業況調査

地域の建築関連企業を取り巻く環境を把握することを目的に、平成28年12月の巡回時に建築関係事業所へアンケートを実施。業況を始め、住宅新築やリフォームの受注状況、資金繰り、労働者の確保等について調査を行った（調査対象者58社、回答36社）

調査の集計及び分析・報告書作成をカメダビジネスサポートに依頼、できあがった報告書はホームページに掲載すると共に今後の分析支援に活用する。

(2) 今年度の目標及び実績等

項 目	(☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)		目標	実績	達成率
① 会報及びお知らせ版送付回数			4 回	2 回	50.0%
② ホームページ更新回数			6 回	8 回	133.3%
③ 調査回数			2 回	2 回	100.0%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント（実施した事業において、工夫した点、努力した点、効果があった点、反省点などを記入する。）

①建設業者向けアンケートでは労働者の確保なども調査した。売上を聴く設問に対して抵抗感があり、回答頂けなかった方もあった。

②会報送付については、お知らせ版は今回発行せず、必要に応じてチラシで対応した。

③新ホームページ作成により年明けから随時更新している。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

○ 拡 充	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
○ 一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
○ 縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
○ 廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
○ 現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(3)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

- ・今回、建設業対象に実施しているが、他の業種（製造業など）も行うとどうか。
- ・調査は西方地区で作ったことで必要性は多いにある。
- ・更新したホームページの活用法として、各種調査結果や会報を掲載してはどうか。

- (5) P D C A評価
実績・評価等結果を踏
まえつつ、目標の達成
度合いの割合に応じて
AからDを判定する。

判 定
B

- A : 目標を達成することができた。(100%以上)
B : 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)
C : 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)
D : 目標を達成することができなかった。(30%未満)

- (6) 次年度目標

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	29年度	今年度比
① 会報送付回数 (お知らせ版を含む)	4 回	±0 回
② ホームページ更新回数	12 回	+6 回
③ 調査回数	2 回	±0 回

- (7) 次年度目標の達成に向けた見直し (改善等)

*コメント (検討委員会には空白で提出。会議では、(4)(5)を踏まえつつ、(6)の達成に向けた考え方を示し、後に記入する。)

- ・調査内容の検討や対象業種の追加(建設業だけでなくその他の業種も)も検討する。
- ・補助金を活用、外部調査会社への委託するなどし、円滑な調査の実施

2. 経営状況の分析に関すること【指針①】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記1. 地域の経済動向調査を踏まえ、「個々の事業者の経営課題を抽出し、事業計画策定の方向性、必要となる需要動向情報の種類・開拓方法を見極めること」を目的に、巡回、窓口相談、各種セミナーの開催、専門家派遣事業等の活用により、販売する商品・サービス(技術)の内容、保有する技術・ノウハウ、従業員等の経営資源、財務、その他の経営状況の分析を行う。分析結果により抽出された課題については、その解決に向けた事業計画の策定支援へと繋げる。

小規模事業者に寄り添い、目線を合わせることで、「課題の深化と本質を見極める」効果を図る。

- (1) 実施した事業内容

① 経営分析対象者の掘り起こし

7月発行の商工会報に経営分析・事業計画書作成セミナーを開催する記事を掲載すると共に、巡回により会報を配布し、経営分析・事業計画作成の必要性とセミナーへの参加について掘り起こしを行った。

その後、チラシを作製し、会員へ配布すると共にセミナー開催前に再度、巡回訪問やFAXの送付により経営分析対象者の掘り起こしを行った。

又、記帳継続指導等においても掘り起こしを行った。

② 経営分析

1. 伴走型小規模事業者支援推進事業を活用し下記の事業を行った。

①10月27日、商工会館に於いて、経営分析セミナーを開催、各種経営分析手法について研修(6者参加、全員が事業計画を作成)

②10月31日~11月18日、セミナー受講者企業への専門家派遣を実施、店舗状況など踏まえ、参加企業に合った経営分析の進め方について支援を行った。(6者派遣)

2. 持続化補助金申請や金融斡旋時(マル経融資含む)に経営分析支援を行った。

3. 記帳機械化事業利用者に簡易財務診断表を使用し、分析支援を行った。

4. 企業力ランクアップ認証システム申請においても分析支援を行った。

- (2) 今年度の目標及び実績等

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	目標	実績	達成率
① 経営分析対象者掘り起こしに係る巡回訪問延べ回数	80 回	92 回	115.0%
② 経営分析に係る巡回訪問延べ回数	6 回	21 回	350.0%
③ 経営分析に係る講習会・セミナー受講者数	1 者	6 者	600.0%
④ 経営分析事業者数 ☆	8 者	13 者	162.5%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとおとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント（実施した事業において、工夫した点、努力した点、効果があった点、反省点などを記入する。）

持続化補助金の活用と合わせて、経営分析・事業計画書作成セミナーへの参加を呼び掛けた。専門家派遣を合わせて行った事によりそれぞれの企業に合った経営分析が出来た。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？
有効性：成果は上がっているか？効果は？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？
効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとおとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）	
	拡 充 <input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実 <input type="checkbox"/> 新たな展開 <input type="checkbox"/> その他
○	一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 実施方法見直し <input type="checkbox"/> その他
	縮 小 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 時限設定必要 <input type="checkbox"/> その他
	廃止休止 <input type="checkbox"/> 妥当性なし <input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき <input type="checkbox"/> その他
	現状維持 <input type="checkbox"/> 適切な事業執行 <input type="checkbox"/> 大幅な変更不要 <input type="checkbox"/> その他

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(3)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

- ・実績が目標に対して大きく上回っているため評価は高い。
- ・セミナー参加者の固定化(参加する人は参加して、参加してほしい人が参加しない)
- ・人数的には6名程度のほうが講師側からすれば教えやすい。
- ・セミナーの名前や開催時間・内容等の工夫が必要。

(5) P D C A 評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
A

- A：目標を達成することができた。（100%以上）
B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(6) 次年度目標

項 目	（☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目）	29年度	今年度比
①	経営分析対象者掘り起こしに係る巡回訪問延べ回数	80 回	±0 回
②	経営分析に係る巡回訪問延べ回数	6 回	±0 回
③	経営分析に係る講習会・セミナー受講者数	1 者	±0 者
④	経営分析事業者数 ☆	8 者	±0 者

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し（改善等）

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議では、(4)(5)を踏まえつつ、(6)の達成に向けた考え方を示し、後に記入する。）

- ・セミナーに参加しやすい雰囲気を作る（経営計画づくりは難しいものではないという印象を与える工夫）
- ・セミナーの名前や開催時間・内容等を検討する。

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記2. 経営状況の分析結果、及び下記5. 需要動向調査に基づき、「個々の事業者が経営課題を解決し、需要を見据えた事業計画を策定すること」を目的に、巡回や講習会等を通じて、計画策定の指導・助言を、栃木県、近隣の商工会等とも連携し行う。

また、創業・第二創業（経営革新）者には、目指す方向性を確認し、計画策定の指導・助言を行う。

小規模事業者に寄り添い、事業者に“気づき”を与えることで、「計画の実効性を高める」効果を図る。

(1) 実施した事業内容

① 事業計画書作成セミナー

経営状況の分析結果に基づき抽出された経営課題を解決するほか、強みを活かした事業計画を策定することを目的に、11月29日、商工会館に於いて、伴奏型小規模事業者支援推進事業により、事業計画書作成セミナーを開催。（7者参加）
経営戦略の概要、事業の方向性・顧客ターゲットなど理解し、事業計画書作成について研修を行った。

② 事業計画策定に係る専門家派遣

伴奏型小規模事業者支援推進事業により、11月30日～12月12日、セミナー受講者企業への専門家派遣を実施。店舗状況など踏まえ、参加企業に合った事業計画書作成支援を行った。（6者参加）
一部の企業では、出来た計画書を元に持続化補助金申請も行った。

③ 栃木市創業アカデミー

栃木市内5商工会共催により、栃木市創業アカデミーが10月7日～11月18日の計7日開催されたが当地区からの参加者はなかった。

④ その他

企業力ランクアップ認証システム申請や持続化補助金申請・金融斡旋などを通じて事業計画策定支援を行った。
第6ブロック青年部主催による「経営計画策定セミナー」にも部員の参加を働きかけ、策定の支援を行った。

(2) 今年度の目標及び実績等

項 目	（☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目）	目標	実績	達成率
① 計画策定支援に係る巡回訪問延べ回数		9 回	24 回	266.7%
② 計画策定支援に係る講習会・セミナーの受講者数		2 者	7 者	350.0%
③ 事業計画策定事業者数（見直しを行った者も含む）☆		12 者	13 者	108.3%
④ 創業支援者数		1 者	0 者	0.0%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント（実施した事業において、工夫した点、努力した点、効果があった点、反省点などを記入する。）

①今回はセミナーを夜に開催したが、参加者確保を考えると昼間でどうかと思う。（特に商業系）

②専門家派遣は参加者の都合に合わせてもらえること。店舗や仕事の内容を見ながら個々に合った指導が出来るので良かった。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）	
拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実 <input type="checkbox"/> 新たな展開 <input type="checkbox"/> その他
○ 一部改善	<input checked="" type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 実施方法見直し <input type="checkbox"/> その他
縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 時限設定必要 <input type="checkbox"/> その他
廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし <input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき <input type="checkbox"/> その他
現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行 <input type="checkbox"/> 大幅な変更不要 <input type="checkbox"/> その他

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(3)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

- ・創業支援者数は0だが、地域性を考えるとやむをえない。他は目標を上回っているため、評価は高い。
- ・セミナー参加者の募集方法(経験者だけでなく、策定に縁がなかった事業者など)に工夫を
- ・創業などでは日本政策金融公庫との連携なども考えたらどうか
- ・創業支援においては努力目標。プチ創業なども考えられる。

(5) P D C A 評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
A

- A : 目標を達成することができた。(100%以上)
- B : 目標を概ね達成することができた。(80%～99%)
- C : 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%～79%)
- D : 目標を達成することができなかった。(30%未満)

(6) 次年度目標

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	29年度	今年度比
① 計画策定支援に係る巡回訪問延べ回数	9 回	±0 回
② 計画策定支援に係る講習会・セミナーの受講者数	2 者	±0 者
③ 事業計画策定事業者数(見直しを行った者も含む)☆	12 者	±0 者
④ 創業支援者数	1 者	±0 者

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し(改善等)

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議では、(4)(5)を踏まえつつ、(6)の達成に向けた考え方を示し、後に記入する。）

- ・次年度も内容等を検討し策定支援のセミナーを開催する。
- ・今年度、作成した事業所にも見直しなどの策定支援を行う。
- ・セミナー参加者の募集方法(チラシの工夫等)に工夫をする。
- ・創業については栃木市や栃木市内商工会と連携し、相談があった場合は積極的に支援する。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記3. 事業計画策定支援を行った事業者に対し、「事業計画に従って行われる事業が、確実に実施され、課題が解決されること」を目的に、「伴走型」の指導・助言を関係機関とも連携して行う。
小規模事業者に寄り添い、継続して支援することで、「計画の(修正・見直し対応も含めて)実効性を高める」効果を図る。

(1) 実施した事業内容

① 持続化補助金、事業実施の支援

持続化補助金の採択企業については、事業計画に従って行われる事業が、確実に実施され、課題が解決されることを目的に必要なに応じて伴走型の支援を行った。国、栃木県、栃木市、栃木県産業振興センター等の支援機関が行う支援策の周知等や経済・需要動向情報の提供なども行った。

② その他

- ①融資の斡旋などで事業計画策定支援を行った事業者に対して、資金繰りの経過や事業計画の実効性などを踏まえ、必要に応じて「伴走型」の支援を行った。
- ②事業計画の確実な実施に向け、課題解決のための専門家派遣を行った。

(2) 今年度の目標及び実績等

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	目標	実績	達成率
① 実施支援に係る巡回訪問延べ回数	38 回	40 回	105.3%
② 実施支援に係る支援策の周知・提案回数	18 回	20 回	111.1%
③ 実施支援事業者数	12 者	16 者	133.3%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント（実施した事業において、工夫した点、努力した点、効果があった点、反省点などを記入する。）
 ①持続化補助金採択企業には、事業の実施が遅れないよう支援すると共に事業の成果が現れるようこまめに支援を行った。又不採択企業にはセミナーへの参加を強く働きかけ、事業計画の修正及び再チャレンジのための支援を行った。
 ②1月に持続化補助金を申請した企業においては、採択後に行う取り組みが円滑に行えるよう詳細について支援を進めている。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？
 有効性：成果は上がっているか？効果は？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？
 効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）	
拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実 <input type="checkbox"/> 新たな展開 <input type="checkbox"/> その他
一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 実施方法見直し <input type="checkbox"/> その他
縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 時限設定必要 <input type="checkbox"/> その他
廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし <input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき <input type="checkbox"/> その他
○ 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 適切な事業執行 <input type="checkbox"/> 大幅な変更不要 <input type="checkbox"/> その他

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(3)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

- ・持続化補助金採択事業所やマル経融資事後指導など積極的に支援を行い、目標以上の結果で評価は高い。地域の企業数を考えると現状維持かと思われる。
- ・【市貝町の例】「企業ドック」を行い、経営状況を診断 →3件の参加あり。他商工会の成功事例を取り入れたらどうか。
- ・補助金申請における不採択事業者への再チャレンジに向けたフォローアップを行う点については好ましい。

(5) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
A

- A：目標を達成することができた。（100%以上）
- B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
- D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(6) 次年度目標

項 目	（☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目）	29年度	今年度比
① 実施支援に係る巡回訪問延べ回数		38 回	±0 回
② 実施支援に係る支援策の周知・提案件数		18 件	±0 回
③ 実施支援事業者数		12 者	±0 回

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し（改善等）

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議では、(4)(5)を踏まえつつ、(6)の達成に向けた考え方を示し、後に記入する。）

- ・他商工会の成功事例を収集し、効果のある事業は取り入れていく。
- ・現在、申請中の持続化補助金申請事業所やマル経融資事後指導など積極的に支援を行う。

5. 需要動向調査に関すること【指針③】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記2. 経営状況の分析を行った事業者に対して、経営分析で把握した事業者の販売する商品・サービス（技術）の需要動向に関する情報について、「将来性判断に有効かつ最新の情報として提供すること」を目的に調査・収集、整理及び分析し、上記3. 事業計画策定支援時、又は、上記4. 事業計画策定後の実施支援に係る巡回訪問時や窓口相談時に提供する。

小規模事業者に寄り添い、情報を噛み砕いて分かりやすく提供することで、「的確な経営判断を行う」効果を図る。

(1) 実施した事業内容

① 需要動向調査

経営状況の分析を行った事業者を中心に、経営分析で把握した事業者の販売する商品・サービス（技術）の需要動向に関する情報について、「将来性判断に有効かつ最新の情報として提供すること」を目的に28年8月、カメダビジネスサポートに調査を依頼、2月に報告書作成。調査結果を商工会ホームページに掲載すると共に企業支援に活用。

② 巡回訪問による聞き取り調査

建設業については、巡回で実施した建設業者向け業況調査において、客単価等については合わせて調査した。

② 住まいに関するアンケートの実施

一般消費者の需要動向に関する情報を調査することで新たな需要開拓の方向性の決定に活用してもらうことを目的に12月4日、ど田舎祭り会場にて来場者へ住まいに関するアンケートを実施。（100名回答）

アンケートの作成・収集・集計・分析・報告書作成はカメダビジネスサポートに依頼、報告書は後日経営分析実施者を含む建築関連事業者の支援に活用する。

なお、アンケート実施と合わせてリフォーム相談会を開催し若干であるが受注に結びつけた。

(2) 今年度の目標及び実績等

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	目標	実績	達成率
① 巡回訪問による調査分析実施回数 ☆	12 回	0 回	0.0%
② アンケートによる調査分析回数	6 回	1 回	16.7%
③ テストマーケティングによる調査分析回数	3 回	0 回	0.0%
④ 当商工会以外の機関が実施する調査による調査分析実施数	12 回	12 回	100.0%
⑤ 実施支援に係る情報提供回数	18 回	6 回	33.3%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらか	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント（実施した事業において、工夫した点、努力した点、効果があった点、反省点などを記入する。）

①巡回訪問による調査分析は、来年度、調査項目を整理し実施したい。

②需要動向調査では分析対象者に絞らず、少し幅を広げての調査を依頼した。

③分析対象者の絞り込みが遅くなり、結果として調査のとりまとめが遅れた。

④住まいに関するアンケートでは設問に工夫が少し足らなかった。（どのような新築・リフォームを求めているのかなど）

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に揃っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかある	概ねある	大いにある	今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）	
必要性							拡 充 <input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実 <input type="checkbox"/> 新たな展開 <input type="checkbox"/> その他
妥当性							○ 一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 実施方法見直し <input type="checkbox"/> その他
有効性							縮 小 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 時限設定必要 <input type="checkbox"/> その他
効率性							廃止休止 <input type="checkbox"/> 妥当性なし <input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき <input type="checkbox"/> その他
						現状維持 <input type="checkbox"/> 適切な事業執行 <input type="checkbox"/> 大幅な変更不要 <input type="checkbox"/> その他	

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(3)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

- ・巡回訪問時のアンケートの実施や円滑な調査提供が出来ていない。調査項目の見直しを含めて、実施方法や内容の見直しが必要。
- ・アンケート調査では保育園等の活用なども考えたらどうか。
- ・栃木市が平成28年12月29日発売の宝島社『田舎暮らしの本』2月号「住みたい田舎ベストランキング」で子育て世代が住みたい田舎全国第1位・若者世代が住みたい田舎全国第1位になっている。空き家バンクなどもあり、資と連携し、その人達の動向などが聞けると良いのでは？

(5) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
C

- A：目標を達成することができた。（100%以上）
- B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
- D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(6) 次年度目標

項 目	（☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目）	29年度	今年度比
① 巡回訪問による調査分析実施回数	☆	12 回	±0 回
② アンケートによる調査分析回数		6 回	±0 回
③ テストマーケティングによる調査分析回数		3 回	±0 回
④ 当商工会以外の機関が実施する調査による調査分析実施数		12 回	±0 回
⑤ 実施支援に係る情報提供回数		18 回	±0 回

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し（改善等）

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議では、(4)(5)を踏まえつつ、(6)の達成に向けた考え方を示し、後に記入する。）

- ・専門家を活用し、目的にあったアンケート調査票を作成し、巡回訪問聞き取り調査の実施。
- ・地区内の需要動向を把握するための栃木市や市内商工会との連携

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記3. 事業計画策定支援を行った事業者（ピンポイントで販路開拓を目指す事業者を含む）に対し、上記5. 需要動向調査で得られた情報に基づき、上記4. 事業計画策定後の実施支援の一環として「課題の解決」を目的に実施する。

小規模事業者が苦手とし、手が回らない広報活動や、展示会等の開催等、ITの活用等、需要の開拓に寄与する事業を行う。

小規模事業者に寄り添い、売上げに直結する“具体的な支援”を行うことで、「計画の実効性を高める」効果を図る。

(1) 実施した事業内容

① 町内企業PRチラシ作成

地域活性化を目的に10月16日開催の「軽トラ市」告知と合わせて、町内企業PRチラシ（サービス券付きチラシ）を作成。イベントへの誘客と個店への誘客を図った。10月9日に新聞折り込みと16日当日会場にて配布。

② にしかたリフォームおまかせ隊のリフォーム相談会チラシ作成

にしかたリフォームおまかせ隊が実施するリフォーム相談会・木工教室をPRすると共に事業を通じて、消費者への事業者認知度向上を図った。相談者3件、受注3件

(2) 今年度の目標及び実績等

項目	(☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	目標	実績	達成率
① 「リフォーム相談会」顧客情報取得件数		10 件	3 件	30.0%
② 「地域密着リフォーム事業」新聞広告掲載事業者数		11 者	11 者	100.0%
③ 「ワクワク系の店づくり事業」実践事業者数		3 者	3 者	100.0%
④ 「スローライフ推進事業」ガイドブック掲載事業者数		1 者	0 者	0.0%
⑤ 「ニッポンセレクト.com」出展事業者数		1 者	0 者	0.0%
⑥ 「ビジネスマッチング商談会」参加事業者数		1 者	0 者	0.0%
⑦ 「西方町内共通商品券」登録事業者数		36 者	36 者	100.0%
⑧ 「プレミアム付商品券事業」登録事業者数		35 者	0 者	0.0%
⑨ 「自社ホームページ作成」事業者数		2 者	0 者	0.0%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント（実施した事業において、工夫した点、努力した点、効果があった点、反省点などを記入する。）

①軽トラ市と合わせて町内企業PRチラシを作成し、町内企業のPRを行ったが、目に見えるような売上向上に繋げることは難しい。

②リフォームおまかせ隊の相談者は3名だが木工教室参加者やアンケート調査回答者にチラシを配布し、組織のPRを行った。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？
有効性：成果は上がっているか？効果は？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？
効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）	
<input type="checkbox"/>	拡 充 <input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実 <input type="checkbox"/> 新たな展開 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	一部改善 <input checked="" type="checkbox"/> 内容見直し <input type="checkbox"/> 実施方法見直し <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	縮 小 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 時限設定必要 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	廃止休止 <input type="checkbox"/> 妥当性なし <input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	現状維持 <input type="checkbox"/> 適切な事業執行 <input type="checkbox"/> 大幅な変更不要 <input type="checkbox"/> その他

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(3)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

- ・数値目標における実績は低いが必要性と有効性は高い。内容の見直しが必要である。
- ・展示会やセミナーなど、提供する情報の内容について教えてもらえるとありがたい。
- ・他地区商工会（あそ商工会）で実績の高いところもあると思うので参考にされると良い。
- ・良い事例を会報等を活用して掲載してはどうか。

(5) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
B

- A：目標を達成することができた。（100%以上）
- B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
- D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(6) 次年度目標

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	29年度	今年度比
① 「リフォーム相談会」顧客情報取得件数	10 件	±0 件
② 「地域密着リフォーム事業」新聞広告掲載事業者数	11 者	±0 者
③ 「ワクワク系の店づくり事業」実践事業者数	3 者	±0 者
④ 「スローライフ推進事業」ガイドブック掲載事業者数	1 者	±0 者
⑤ 「ニッポンセレクト.com」出展事業者数	1 者	±0 者
⑥ 「ビジネスマッチング商談会」参加事業者数	1 者	±0 者
⑦ 「西方町内共通商品券」登録事業者数	36 者	±0 者
⑧ 「プレミアム付商品券事業」登録事業者数	35 者	±0 者
⑨ 「自社ホームページ作成」事業者数	2 者	±0 者

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し（改善等）

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議では、(4)(5)を踏まえつつ、(6)の達成に向けた考え方を示し、後に記入する。）

- ・各種商談会・展示会等はホームページに掲載すると共に、該当する事業所にメール又はFAXなどを活用し情報の提供・登録などの支援を行う。
- ・特に次年度は栃木市プレミアム付き商品券事業が予定されており、事業の周知や登録の支援を行う。

7. 地域経済の活性化に資する取組み

商工会が“地域総合経済団体”として行う、地域経済の活性化に資する取組（地域振興事業）は、経営改善普及事業と一応の区別はできるものの、相互に有機的な関連をもっている。

また、地域経済の活性化は、当地域のブランド化やにぎわいの創出といった地域に密着して事業を行う小規模事業者の振興に直結するものであるため、「面的支援」として取り組んでいく。

これまでは、当商工会独自の方針で地域経済の活性化を推進してきたが、今後は、栃木市や栃木市商工経済団体連絡協議会（前掲）、西方町観光協会などと連携を密に図り、今後の地域経済活性化の方向性等を検討すると共に小規模事業者が事業を持続的発展させるための良好な環境を整備する。

(1) 実施した事業内容

① 地域イベント「金崎のさくら祭り」事業の協力

地域イベントを実施することで地域経済の活性化を図ることを目的に、4月3日、にしかたリフォームおまかせ隊が「金崎さくら祭り」において餅つき大会を実施。合わせて来場者にチラシを配布し消費者に対する事業者の認知度向上を図った。

② 地域経済の活性化に資するイベントの開催

「商業活性化軽トラ市事業」（愛称：西方商工会“スー爺サンタ”の軽トラ市）を開催。消費者、生産者、商工業者相互の交流、賑わい創出と町内事業所の認知度向上を目的に道の駅にしのかたの広場を活用し、軽トラック等の荷台で農産物・加工品、商・工業品等の販売を行った。併せて町内事業所PRちらしを発行し、町内事業所への経済効果を図った。

(2) 今年度の目標及び実績等

項 目 (☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目)	目標	実績	達成率
① 来場者数（桜祭り）	1000 人	1000 人	100.0%
② 出店者数（軽トラ市）	20 店	19 店	95.0%
③ 来場者数（軽トラ市）	1200 人	1200 人	100.0%

(3) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント（実施した事業において、工夫した点、努力した点、効果があった点、反省点などを記入する。）
 ①餅つき実施時にはリフォーム隊はユニホームを着用すると共に、餅の配布時に合わせてチラシも配布している。
 ②道の駅の新米祭りと合わせて実施したため、来場者が多く見られた。そのため、駐車場不足が生じた。今後は支所前駐車場への誘導が必要。又、軽トラ市への出店者確保が課題となって来ている。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？
 有効性：成果は上がっているか？効果は？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？
 効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(4) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）	
○ 拡 充	☑事業の拡大・充実 □新たな展開 □その他
□ 一部改善	□内容見直し □実施方法見直し □その他
□ 縮 小	□事業の縮小 □時限設定必要 □その他
□ 廃止休止	□妥当性なし □当会以外で実施すべき □その他
□ 現状維持	□適切な事業執行 □大幅な変更不要 □その他

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(3)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

- ・目標に対する実績もほぼ達成しているため、評価は高い、事業の充実をお願いする。
- ・観光協会と相互に思川の桜堤の優位性(ペット連れでもOK、バーベキューもできるという面)のPRが必要
- ・軽トラ市における出店者の顔ぶれ(道の駅に卸している会員が参加せず、それ以外が参加している)の変化がほしい。

(5) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定
A

- A：目標を達成することができた。（100%以上）
- B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
- D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(6) 次年度目標

項 目	（☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目）	
① 来場者数（桜祭り）	29年度	今年度比
② 出店者数（軽トラ市）	1000 人	±0 人
③ 来場者数（軽トラ市）	20 店	±0 店
	1500 人	+ 300 人

(7) 次年度目標の達成に向けた見直し（改善等）

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議では、(4)(5)を踏まえつつ、(6)の達成に向けた考え方を示し、後に記入する。）

- ・軽トラ市は道の駅にしかたと積極的に連携を図り、出店者の確保や会場設営、催事などを行っていく。
- ・金崎の桜祭りは観光協会と連携を図り、地域経済の活性化に資するよう取り組んで行く。

8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記Ⅰ. 経営発達支援事業の内容で掲げる6つの事業（＝経営発達支援事業）が「効果的かつ円滑に実施されること」を目的に取り組む。

事業を推進する職員が、他商工会の職員や支援機関と、支援事例や支援ノウハウ、事業者の現状、課題等について情報交換を行う。

また、役員は、他商工会の役員と、支援体制や商工会の現状と課題等について情報交換を行う。

(1) 実施した内容

- ① 職員協議会第6支部に所属する7商工会の職員同士の情報交換
- ② 第6ブロック商工連絡会議にての情報交換
- ③ 県連が開催する各種セミナーでの情報交換
- ④ 栃木市商工経済団体連絡協議会事務局責任者会議にての情報交換
- ⑤ マル経協議会での情報交換
- ⑥ 地域内金融機関との情報交換

(2) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント（実施した事業において、工夫した点、努力した点、効果があった点、反省点などを記入する。）

セミナーや会議には積極的に参加している。又、得た情報は打ち合わせ等で必要に応じて報告している。今後はこまめに報告し情報の共有を図る。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(3) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかと いうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

	拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
○	一部改善	<input checked="" type="checkbox"/> 内容見直し	<input type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
	縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
	廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
	現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(2)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

・商工会同士の情報交換や各団体等と情報交換が積極的に行われているが、より効果の上がるよう内容の充実を図るべき。特に今回の経営発達計画や伴走型小規模事業者支援推進事業の進捗・方法など（各種調査など）

(4) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定

B

A：目標を達成することができた。（100%以上）

B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）

D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(5) 次年度への見直し（改善等）

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議では、(3)(4)を踏まえつつ、改善等を示し、後に記入する。）

- ・引き続きセミナーや会議に積極的に参加すると共に内容の質を高めていく。
- ・電話やメールなどを活用し、他商工会との取り組んでいる成功事例などの情報を収集する。

9. 経営指導員等の資質向上に関すること

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記Ⅰ. 経営発達支援事業の内容で掲げる6つの事業（＝経営発達支援事業）が「効果的かつ円滑に実施されること」を目的に取り組む。事業を推進する職員の研修派遣、OJT、勉強会開催により資質向上を図る。

(1) 実施した内容

- ① 県連が開催する職種別セミナーへの参加
- ② 「ワクワク系の店づくりセミナー」等能力向上に繋がるセミナー等への参加
- ③ 内部勉強会の開催
- ④ OJTの実施（先輩職員や専門家に同行し支援を行う）

(2) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント（実施した事業において、工夫した点、努力した点、効果があった点、反省点などを記入する。）

- ① 県連以外のセミナー（労働保険の研修会等）にも積極的に派遣した。
- ② 内部勉強会に県連担当職員を派遣頂き、経営発達支援計画について研修を行った。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？
有効性：成果は上がっているか？効果は？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？
効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(3) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかとうとある	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

	拡 充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
○	一部改善	<input checked="" type="checkbox"/> 内容見直し	<input type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
	縮 小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
	廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
	現状維持	<input type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(2)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

・内部勉強会なども行っており、おおむね良好である。限られた人数であり、巡回や専門家との同行は厳しいと思うが、更なる資質向上を図って頂きたい。

(4) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判 定

B

- A：目標を達成することができた。（100%以上）
 B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）
 D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(5) 次年度への見直し（改善等）

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議では、(3)(4)を踏まえつつ、改善等を示し、後に記入する。）

- ・引き続き、各種セミナーに積極的に参加させると共に、OJTなどを通じて資質の向上を図る。

10. 支援ノウハウ等を組織内で共有する体制

経営発達支援事業の目標達成に向け、上記I. 経営発達支援事業の内容で掲げる6つの事業（＝経営発達支援事業）が「効果的かつ円滑に実施されること」を目的に取り組む。当商工会組織としての支援ノウハウの共有及び蓄積を行う。

(1) 実施した内容

① 支援ノウハウの組織的な蓄積

(2) 今年度実績に対する内部評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかといふところ	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

*コメント（実施した事業において、工夫した点、努力した点、効果があった点、反省点などを記入する。）

研修や会議参加者は、研修後、資料付きの復命書を全職員に回覧し、情報の共有化を図るとともに、必要に応じて話し合いの場や勉強会を設けて、職員の指導レベル向上に繋げた。

【5段階評価の主なポイント】

必要性：目的に合っているか？必要か？

妥当性：事業の実施方法は適切か？内容は妥当か？

有効性：成果は上がっているか？効果は？

効率性：事業は効率的か？ムリ・ムダ・ムラはないか？

(3) 今年度実績に対する検討委員会の評価

5段階評価	ない	あまりない	どちらかといふところ	概ねある	大いにある
必要性					
妥当性					
有効性					
効率性					

今後の方向性（5項目から1つを選択し○を、理由に☑を入れる）

<input type="checkbox"/>	拡充	<input type="checkbox"/> 事業の拡大・充実	<input type="checkbox"/> 新たな展開	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	一部改善	<input type="checkbox"/> 内容見直し	<input type="checkbox"/> 実施方法見直し	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	縮小	<input type="checkbox"/> 事業の縮小	<input type="checkbox"/> 時限設定必要	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	廃止休止	<input type="checkbox"/> 妥当性なし	<input type="checkbox"/> 当会以外で実施すべき	<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/>	現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 適切な事業執行	<input type="checkbox"/> 大幅な変更不要	<input type="checkbox"/> その他

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(2)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

- ・情報の共有化は必要性が高く、情報の文書化やミーティングなどを行い、共有化が図られている。
- ・支援ノウハウに関してはマニュアル化・数値化が難しい。

(4) PDCA評価

実績・評価等結果を踏まえつつ、目標の達成度合いの割合に応じてAからDを判定する。

判定
B

A：目標を達成することができた。（100%以上）

B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）

D：目標を達成することができなかった。（30%未満）

(5) 次年度への見直し（改善等）

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議では、(3)(4)を踏まえつつ、改善等を示し、後に記入する。）

- ・情報の文書化を図ると共にミーティングなどを通じて情報の共有を積極的に図る。
- ・共有化の方法も改善する。

1 1. 施策利用状況等（その他取組み状況）

(1) 今年度の実績

項 目（☆は、中小企業庁の調査指標に合致する項目）	実績	前年度
①持続化補助金申請件数	6 件	4 件
（うち、採択件数）	2 件	4 件
②経営改善資金（マル経）利用件数	3 件	8 件
③経営発達支援資金利用件数	0 件	0 件
④小規模事業者に対する巡回訪問件数	800 件	850 件
⑤小規模事業者数	219 者	219 者
（うち、会員小規模事業者数）	148 者	148 者

(2) 今年度の実績に対する内部の評価

*コメント（実績を上げるために工夫した点、努力した点、効果があった点、反省点などを記入する。）

年2回実施していた職員全員による全会員巡回訪問を今年は3回実施。
持続化補助金は全会員にチラシを配布すると共に若手経営者を中心に再度説明、不採択事業所については再度支援を行い1月の申請を支援した。

(3) 今年度の実績に対する検討委員会の評価（意見等）

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議において、(1)～(2)に対する評価理由、改善提案や助言、感想等を委員からいただき、後にその内容を記入する。）

- ・限られた人数や時間で積極的に巡回訪問をされている。
- ・是非、経営発達支援資金を利用下さい。
- ・市の小規模企業振興基本条例制定に伴い、地区振興センターの設置が予定されている。

(4) 次年度に向けた見直し（改善等）

*コメント（検討委員会には空白で提出。会議では、(2)(3)を踏まえつつ、改善等を示し、後に記入する。）

引き続き、巡回訪問を積極的に行うと共に、必要に応じてマル経融資の斡旋や経営発達支援資金の斡旋を行って行く。